



守礼門をモチーフとしたアーチ (3年小林大輝班長)



各クラス工夫を凝らした企画でゲストをもてなした

次回
蛟龍祭
2024年
6月
開催予定

いただきました、小林工業株式会社様、また、当日駐車場のご協力を頂きました。群馬県立県民健康科学大学様、セブンイレブン前橋下沖町店様、誠にありがとうございました。また、仮装行列でお世話になりました多くの方々には御礼申し上げます。

三大行事

蛟龍祭大盛況

感染対策徹底し、伝統つなぐ



蛟龍祭のフィナーレ 応援団による「わっしょい」(3年松村息吹団長)

6月4日〜5日、約4千名の来場者を迎え、蛟龍祭(本校の文化祭)が開催された。一般公開は新型コロナウイルスの流行後初めてのことであり、特に感染対策が徹底された。チケットに印刷されたバーコードを利用した、各企画の会場の混み具合をリアルタイムで確認できるシステムは、感染対策の一助となった。今年の蛟龍祭では、クラス企画のテーマとして、「過去、現在、未来」を掲げた。来場者に楽しんでもらうため、年度当初からクラスで意見を出し合い、各企画を準備してきた。体験型のアクティビティが多く、来場者と本校生徒の交流が活発に行われ、どの学年の企画も大盛況であった。

有志の発表では、ミスコンやお笑い、のど自慢、クイズ大会といった催しに多くの生徒が参加し、それぞれの個性を存分に発揮して文化祭に彩りを添えた。アーチ制作に多大なお力添えをいただきました、小林工業株式会社様、また、当日駐車場のご協力を頂きました。群馬県立県民健康科学大学様、セブンイレブン前橋下沖町店様、誠にありがとうございました。また、仮装行列でお世話になりました多くの方々には御礼申し上げます。



前高通信

蛟龍から風

令和4年7月15日(金)

第17号

発行

群馬県立

前橋高等学校



吹奏楽部 フラワーパークで演奏会



6月19日(日)、ぐんまフラワーパークにて本校の吹奏楽部が演奏会を行った。前高同窓会赤南支部会員でフラワーパーク前専務の、桜井敏道様のお取り計らいにより今年で8年目を迎えた。公演は午前と午後の2回行われ、来場者を楽しませた。

祝 卓球部 インターハイ 出場決定

陸上部

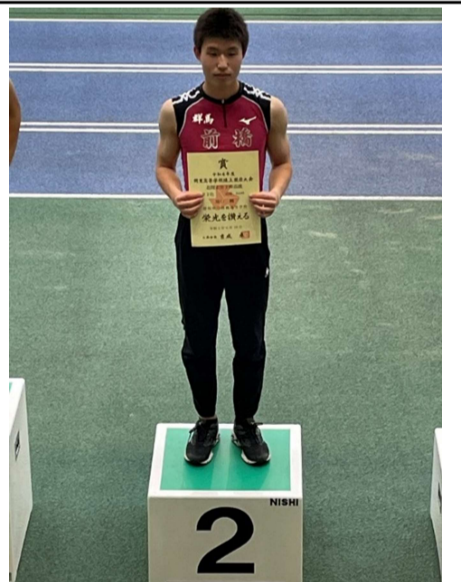
～躍動の青い力 四国総体 2022～



卓球部 (左から) 小澤、須藤、村上



陸上部 原口



告知 三大行事 優曇華開催

第58回優曇華(うどんげ)開催予定。日程は7月24日(日)。優曇華とは、ギター・マンドリン部、音楽部、吹奏楽部の合同演奏会である。優曇華実行委員長の木曾雅也君(3年)は、「演奏会は」わずかな時間ではありますが、お客様に楽しんでもらえるよう頑張ります」と笑顔で語った。入場制限を設けるためチケット制を導入する。



実行委員長 木曾

6月18日(土)、カンセキスタジアムとちぎにて、関東高等学校陸上競技大会が行われた。棒高跳びで本大会に出場した原口剛君(3年)が第2位に入賞し、インターハイへの切符を獲得した。本戦は徳島県鳴門市で行われる。関東大会の結果を振り返り、原口君は「3年ぶりに自己ベストを更新できて嬉しかった」と語った。中学時代、全国大会で3位に入賞した際に出した自己ベストを、遂に今回の大会で塗り替えた。インターハイ本番は、4m60がスタートの高さであり、今回達成した自己ベスト記録を20センチ上回る高さに設定されている。これを跳ぶことができれば決勝が見えるという。原口君は、「調子は上がってきている。上手くいけば跳べる」と本戦に向けて闘志を燃やしている。

6月19日(日)、ヤマト市民体育館にて全国高校総体卓球競技群馬県予選会が行われた。男子ダブルスにおいて本校3年の須藤諄君、小澤竜登君のペアが準優勝し、インターハイ出場を決めた。シングルスでは、小澤竜登君が第3位、村上空君(1年)が第5位に入賞した。インターハイは愛媛県宇和島市で開催される。予選での戦いは「2日間を通して、周囲の音が聞こえないくらいかなり集中できていた」と須藤君は振り返る。「勉強とバランスを取りながらいい形で準備できている。チャレンジャーの気持ちでまず一勝できるように頑張りたい」と決意を語った。